

Title	三田商学研究第63巻自第1号至第6号総目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学出版会
Publication year	2021
Jtitle	三田商学研究 (Mita business review). Vol.63, No.6 (2021. 2) ,p.141- 142
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234698-20210200-0141

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

三田商学研究 第63巻 自第1号 至第6号 総目次

論 文

	号 頁
会計学の考え方 (6).....	友岡 賛 1・1
会計責任と監査——会計学の基本問題〔Ⅲ〕(4)——.....	友岡 賛 1・15
評価規約における収益費用観・資産負債観の意義——斎藤学説(6)——.....	笠井 昭次 1・27
公共トラクターミナル生成の史的展開とその意義.....	加藤 一誠 1・49
経済学と法学における諸定義.....	田村 幸士 1・49
stewardship と accountability —— 会計学の考え方 (7) ——.....	牧 厚志 1・71
意思決定有用性アプローチと会計理論 —— 会計学の基本問題〔Ⅲ〕(5) ——.....	友岡 賛 2・15
企業の補完性とビジネスモデル・デザイン —— ケイパビリティと活動の関係性の比較分析 ——.....	木戸 一夫 谷口 和弘 2・25
戦前・戦時期経済団体における貿易振興活動 —— 日本貿易協会を中心に ——.....	渡部 直樹 保田 明子 2・49
会計主体論の存在意義——会計学の基本問題〔Ⅲ〕(6)——.....	友岡 賛 3・1
法定監査に関する EU 規制 —— 経緯・内容・実施状況 ——.....	永見 尊雄 3・13
コロナ禍と会計 —— 会計学の基本問題〔Ⅳ〕(5) ——.....	内藤 文雄 3・35
マーケティング理論の焦点と「人間学」.....	友岡 賛 3・35
限定合理性 —— その進化と哲学的意義 ——.....	堀越 比呂志 4・1
ドイツ一般経営経済学における方法論的問題状況 —— Chr. ユルミの所説を中心に ——.....	渡部 直樹 4・19
ダイナミック・ケイパビリティ論の哲学的・経済学的解釈 —— ダイナミック・ケイパビリティとイノベーションのジレンマ ——.....	榊原 研互 4・35
ダイナミック・ケイパビリティ論の哲学的・経済学的解釈 —— ダイナミック・ケイパビリティとイノベーションのジレンマ ——.....	菊澤 研宗 4・47
マクロ・マーケティング視点より見た日本の消費者政策.....	高橋 郁夫 4・61
年配者の情報感度によるセグメンテーションの実証研究.....	清水 聡 4・77
概念メタファーが消費者選択に与える影響 —— 甘くロマンチックな恋愛と苦々しい失恋 ——.....	小野 晃典 4・99
機械学習とマーケティング.....	里村 卓也 4・111
暗黙理論と異時点間選択 —— 心理的な時間と楽観性の調整効果 ——.....	白井 美由里 4・123
マーケティング戦略におけるビッグデータの活用.....	高田 英亮 4・137
オートクチュール、ラグジュアリー・インターナショナル・ビジネスと マーケティング戦略.....	塚田 朋子 4・151
マンガ・アニメの消費者行動 —— コンサマトリーで、優劣の客観的判断基準がない製品の 消費者行動分析 ——.....	三浦 俊彦 4・165

地域ブランド成果の相違が地域ブランド資産-価値構造の評価に与える影響 —— 修正地域ブランド資産-価値評価モデルに基づく定量分析 ——	小林 哲	4・183
わが国における第二次世界大戦直後の電気自動車ブーム —— 新規参入者の動きを中心として ——	石川 和男	4・203
ポップアップ・ストア研究の現状と課題	菊池 一夫	4・217
小売国際化研究における知識移転研究の知的連関に関する一試論	戸田 裕美子	4・235
「消費者行動研究およびマーケティング研究」と方法 —— 阿部と堀越の批判的討論をふり返って ——	余 漢 燮	4・251
S.D. ハントの方法論の変遷について	松尾 洋治	4・289
無形資産会計論の存在意義 —— 会計学の基本問題〔Ⅲ〕(7) ——	友岡 賛	5・1
「複式簿記」を説明することの意味 —— 会計学の基本問題〔Ⅳ〕(1) ——	友岡 賛	5・13
談合と落札率 —— ストーカー入札談合事件 ——	牧 厚 志	5・23
評価規約の規定要因 —— 米山学説(1) ——	笠井 昭次	5・55
管理会計研究のための組織ライフサイクルモデル —— 提示と実証的検討 ——	吉田 栄介 森 浩 気 徐 智 銘	5・71
日米比較を通してみる値付けの歪み —— 「IPO 神話」復活の兆しに問う ——	金子 隆	5・91
会計の終焉と会計学者の責任 —— 会計学の基本問題〔Ⅲ〕(8) ——	友岡 賛	6・1
資本維持の論拠 —— 会計学の基本問題〔Ⅳ〕(2) ——	友岡 賛	6・13
評価規約の規定要因 —— 米山学説(2) ——	笠井 昭次	6・25
体制転換と金融システムの構造変化(Ⅳ) —— チェコ共和国の場合 ——	赤川 元章	6・41
さらなる挑戦 —— 御手洗富士夫のキヤノンと古森重隆の富士フィルム ——	谷口 和弘 W. マーク・フルーエン	6・79
落札率と談合の関係 —— 東京都下水道ポンプ設備工事入札談合事件 ——	牧 厚 志	6・99

研究ノート

MHI Vestas Offshore Wind A/S インタビュー調査	井口 知 栄 坂本 義 和	3・45
不正による重要な虚偽表示リスクを高める内部統制の統制環境	白井 哲 也 松本 麗 子	6・121

資 料

研究開発に関する調査2019 —— 13年間の変化傾向と単純集計の結果 ——	濱岡 豊	3・55
マネジメント・コントロールを担うわが国における経営企画部門の実態 —— 質問票調査の結果報告 ——	横田 絵 理 鬼塚 雄 大	3・83
アフリカにおける消費者行動 —— Afrobarometer の分析を中心に ——	郷 香野子 林 潤 也 葛 迫 祐 也 王 蒙 津 於 詩 琦 巖 奕 昊 濱岡 豊	5・115

そ の 他

堀越比呂志教授退任記念号発刊にあたって	岡本 大 輔	4・巻頭
堀越比呂志教授 略歴および研究業績		4・307